



2023年3月15日

各 位

上場会社名 株式会社アーレスティ
代表者 代表取締役社長 高橋 新一
(コード番号 5852 東証プライム)
問合せ先責任者 執行役員経営企画部長 清水 敦史
(TEL 03-6369-8664)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年11月14日に公表しました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	146,100	1,500	1,600	1,000	38.62
今回発表予想(B)	141,000	150	200	未定	未定
増減額(B-A)	△5,100	△1,350	△1,400	-	
増減率(%)	△3.5	△90.0	△87.5	-	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	116,313	△2,422	△2,032	△5,189	△201.23

2. 修正の理由

上期の中国でのロックダウンの影響をうけた当社グループの売上高は下期より徐々に増加の兆しが見え始め、各事業セグメントの収益も回復基調で推移しておりました。しかしながら2022年末における中国のゼロコロナ政策の緩和に伴う新型コロナウイルスの拡大や半導体不足等による自動車メーカーの生産計画下振れ影響により受注量および売上高が前回予想を下回る見込みです。営業利益、経常利益につきましても、急激な受注変動による固定費負担、エネルギー価格や労務費等の高騰に伴う生産コストの増加影響により前回予想を下回る見通しとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、本日公表いたしました「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当社東松山工場の土地譲渡に伴い特別利益（固定資産売却益）として約30億円の計上を見込んでおりますが、当社及び連結子会社が保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」等に基づき、今後の事業計画を踏まえた将来の回収可能性を精査中であるため、現時点においては未定とさせていただきます。今後、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

なお、期末配当予想につきましては、2022年5月18日公表（1株につき5円）から変更はございません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の補足資料

通期連結業績予想のセグメント情報

セグメント	売上高（百万円）			セグメント利益（百万円）		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
ダイカスト事業 日本	59,700	58,800	△900	530	250	△280
ダイカスト事業 北米	38,100	37,200	△900	△160	△550	△390
ダイカスト事業 アジア	36,200	33,700	△2,500	620	0	△620
アルミニウム事業	7,700	8,100	400	330	300	△30
完成品事業	4,400	3,200	△1,200	250	250	0
セグメント間取引消去	—	—	—	△70	△100	△30

為替レート的前提（今回予想：135.0円/米ドル、20.0円/元、1.70円/インドルピー）

（前回予想：135.0円/米ドル、20.0円/元、1.70円/インドルピー）

以上